

【別記様式第 1 号】

作成者：宮崎県資源管理実践漁業者協議会 会長 是澤喜幸

協定の情報	協定の名称	宮崎県におけるいせえび、かます等に関する刺網漁業の資源管理協定		
	対象の水域	宮崎県地先海面		
	対象の水産資源	いせえび太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-8） かます類太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-9）		
	対象の漁業	いせえび磯建網漁業、刺網漁業		
	協定の有効期間	令和５年９月１日から令和１０年８月31日まで		
検証の日程等	中間時検証（有効期間の２分の１）	終了時検証	備考	
	令和８年度	令和10年度（予定）		

対象の水産資源名		いせえび太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-8）						
対象水産資源の総漁獲量に対する協定参加者の漁獲量の割合(令和5年)		宮崎県における対象資源の令和5年度漁獲量62.9トンに対し、協定参画者による漁獲量は62.0トンであり、99%を占める。 ＊出典：漁協販売データ						
資源管理の目標及び取組内容等	資源管理の目標		県が行う資源評価において、判断される資源の動向を令和13年までに増加とする					
	協定の取組内容及びその目的		宮崎県において資源管理を行うための方針で定める資源管理の方向性の達成のために、以下の取組を実施。 休漁日の設定：1月に5日間以上の休漁					
	その他の管理措置		いせえび磯建網漁業：地域別の自主的資源管理措置（休漁の追加、禁漁区の設定、反数制限、出漁時刻の設定、共同操業等）					
履行の状況 ○:全参加者が履行 ×:上記以外		単位	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	備考
	履行状況	-	○	○	○	取組予定		■履行の状況は、協定参加者の休漁の遵守状況。
	参加隻数	隻	150	149	141	141		■表中の取組内容は、協定参加者による磯建網漁業の「いせえび」の漁獲実績。令和8年は4月末時点。
	取組内容	トン	62.0	67.3	60.5	7.8		■取組実績は、休漁により獲り控えられた「いせえび」の推定漁獲削減量。
	取組実績	トン	17.1	20.8	15.5	取組予定		
資源状況		県の資源評価対象魚種であり、令和7年度評価結果では、資源水準・動向は「中位・横ばい」と評価された。						
取組の評価		取組の効果があったが、取組内容の改良が必要である						
評価内容	休漁については、令和5～7年度に協定のとおり取組を実施した。また、休漁により、一定の獲り控えができた考える。							
	一部の地域では漁獲量が増加傾向が見られることから、現行の資源管理の取組（自主的管理措置も含め）を継続し、漁獲量の動向を注視していく。							

対象の水産資源名	かます類太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-9）							
対象水産資源の総漁獲量に対する 協定参加者の漁獲量の割合(令和5年)	宮崎県における対象資源の令和5年度総漁獲量184.6トンに対し、協定参加者による漁獲量は20.9トンであり、11%を占める ＊出典：漁協販売データ							
資源管理の目標 及び取組内容等	資源管理の目標	県が行う資源評価において、判断される高位の資源水準を維持する						
	協定の取組内容及びその目的	宮崎県において資源管理を行うための方針で定める資源管理の方向性の達成のために、以下の取組を実施。 休漁日の設定：8月に5日間以上の休漁						
	その他の管理措置							
履行の状況		単位	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	備考
○:全参加者が履行 ×:上記以外	履行状況	-	○	○	○	取組中		■履行の状況は、協定参加者の休漁状況。
	参加隻数	隻	34	34	33	34		■表中の取組内容は、協定参加者による刺網漁業の「かます類」の漁獲実績。令和8年は7月末時点。
	取組内容	トン	20.9	13.2	15.9	6.2		■取組実績は、休漁により獲り控えられた「かます類」の推定漁獲削減量。
	取組実績	トン	0.25	0.26	0.02	取組中		
資源状況	県の資源評価対象魚種であり、令和7年度評価結果では、「高位・減少」と評価された。							
取組の評価	取組の効果が継続する							

	評価内容	休漁について、協定開始以降、令和５～７年度に協定のとおりに取組を実施した。 なお、休漁による獲り控えの効果は少ないものの、一定の効果があったと認識している。
	取組の 改良点等	

＜資源管理協定全体の協定参加者による検証及び改良点等＞

判定	取組の効果があったが、取組内容の改良が必要である
	資源管理の取組について、磯建網漁業及び刺網漁業による休漁を全ての年度で履行し、前者では休漁によるいせえびの獲り控え効果も推定された。 また、資源状況について、いせえびでは資源管理の目標が未達となったが、かます類では達成されている。 以上の状況を踏まえ、本協定全体として、「取組の効果があったが、一部の資源について、取組内容の改良が必要である」と判定する。 なお、いせえびでは、一部の地区で漁獲量が増加傾向を示していることから、漁獲量の動向を注視していく。 【参考：各魚種の評価結果】 いせえび太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-8）：取組の効果があり継続する かます類太平洋中・南部海域（宮崎県において資源管理を行うための方針別紙3-9）：取組の効果があったが、取組内容の改良が必要である

※以下、該当する場合に作成

＜資源管理協議会等による検証を受けての対応＞

記載年月日：令和８年９月２５日

対応	協定参加地区において、いせえび資源の底支えを図るため、増殖に関する取組の検討を進めるとともに、かます類も含めて、これまで取り組んできた現行の資源管理を引き続き、履行していくこととする。
----	--

資源管理協議会等による中間時検証

＜資源管理協議会等による検証＞

記載年月日：令和８年８月２６日

判定	取組の効果があったが、取組内容の改良が必要である
	いせえびの資源管理の目標が未達であった現状を踏まえて、「取組の効果があったが、取組内容の改良が必要である」と判定する。 一方、磯建網漁業による休漁の取組においては、いせえびの一定の漁獲量の削減を達成しており、その効果は評価できる。なお、いせえびに関しては、一部の地区で漁獲量が増加傾向を示しているため、現行の資源管理措置の継続とともに、漁獲量の底支えに繋がるよう、本種の生息・生育の場づくりとして、人工構造物の沈設等の取組を検討していく必要がある。 また、かます類については、資源管理の目標を達成しており、休漁による獲り控え効果も小さいながら、一定の効果はあったと考える。